

【機密性2 完全性2 可用性2】

倫理委員会議事要旨

- 1 日 時 令和6年12月16日(月) 15:20~15:40
- 2 場 所 中会議室(1)
- 3 出席者 ○自然科学系委員
(医学) 坂井 臨床研究部長(委員長)
井上 副院長(副委員長)
【欠】木村 統括診療部長
(看護学) 西前 看護部長
(薬学) 西川 薬剤部長
○人文・社会学系委員
(一般) 頼本 事務部長
【欠】沖野 企画課長
河本 管理課長
(法曹) 板野 内部委員
(倫理) 太田 外部委員
平岡 外部委員
本保 外部委員

◇記録・・・ 山内 庶務班長 ※【欠】は欠席

4 議事要旨

【出席人数について】

(内A) 本日は委員10名が出席していますので、本委員会は成立しています。

【前回の議事要旨確認について】

(内A) 前回の議事要旨確認は、本保外部委員と板野内部委員にお願いします。

****前回の議事要旨が承認された****

【臨床・研究倫理審査の申請について】

令和6年度 受付分

受付番号	職名	氏名	研究課題名
42	小児神経科医師	吉永 治美	ADHD治療薬の選択に苦慮した一例
43	呼吸器・アレルギー内科 医師	板野 純子	当院の抗悪性腫瘍薬以外による薬剤性肺障害の臨床的特徴
44	看護師	茨木 美恵	神経筋難病病棟におけるACPの現状と課題

(内A) 令和6年度 受付分について、42番は研究結果の公表であったので、特に問題ないので迅速審査とした。43番は研究計画の変更としているが、期間の延長だったので、迅速審査とした。44番は研究の実施である。ACPは色々な病院で実施しているが、神経筋難病が難しいのは、途中で考えを変える人がいる点である。例えば筋萎縮性側索硬化症では、呼吸不良となった時に呼吸器を装着するか否かを何度も確認するが、最初は装着しないとしても長い経過の間で、症状が悪化するとか末期になって考え方が変わったりする。研究としては特に問題はないため迅速審査とした。

(内B)

- ・44番については、それなりの対象患者がいるのか。

(内A)

- ・まだ患者に説明をし始めた段階で、余りいないと思われる。どの病院も取り組み始めたところである。

(内D)

- ・今から浸透させていって、どこが難しいのかを研究の中で明らかにしていきたい。

****承認された****

【伝達事項等】

【その他】

【本日の議事要旨確認について】

(内A) 本日の議事要旨確認は、平岡外部委員と河本内部委員にお願いします。

****その他は特に意見なし****

それでは、以上で倫理委員会を終了いたします。

- ・次回の開催日時 → 1月20日(月) 15時～(受託研究審査委員会、終了後)

上記の議事要旨に相違ないことを確認する。

外部委員署名〔 平岡 守 〕

内部委員署名〔 河本 希宏 〕